

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社
コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役 執行役員会長兼社長 （氏名）乙部 辰良
問合せ先責任者 （役職名）取締役 執行役員 （氏名）大和田 徹 TEL 03 (6229) 0881
半期報告書提出予定日 2024年11月22日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績 （％表示は、対前年中間期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	57,362	9.2	4,867	0.3	1,626	△2.5
2024年3月期中間期	52,507	9.6	4,851	16.8	1,667	11.6

（注）包括利益 2025年3月期中間期 2,033百万円（69.4%） 2024年3月期中間期 1,199百万円（—%）

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	65.53	—
2024年3月期中間期	67.18	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	210,888	41,581	19.7
2024年3月期	210,265	39,995	19.0

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 41,457百万円 2024年3月期 39,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	116,000	6.1	9,300	12.9	1,800	24.1
						72.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	24,820,530株	2024年3月期	24,820,530株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	142株	2024年3月期	142株
-------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	24,820,388株	2024年3月期中間期	24,820,418株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	9
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(中間連結損益計算書に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

※ 当社は、2025年3月期第2四半期(中間期)連結決算についての機関投資家・アナリスト向け説明会(Web会議)を2024年11月12日に開催する予定です。当説明会資料につきましては、当社ホームページに掲載いたします。

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

① 当社グループの経営成績

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	対前年同期 増減率 （%）
経常収益	52,507	57,362	9.2
経常利益	4,851	4,867	0.3
親会社株主に帰属する中間 純利益	1,667	1,626	△2.5

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ4,854百万円増加し57,362百万円（前年同期比9.2%増加）となりました。利益面では、前年同期に一過性要因として計上した生命保険事業の責任準備金戻入額の影響などにより、経常利益が前年同期に比べ15百万円増加の4,867百万円（同0.3%増加）にとどまり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ41百万円減少し1,626百万円（同2.5%減少）となりました。

生命保険事業においては、医療保険の一部について実施していた再保険の出再比率変更などによる責任準備金戻入額を一過性の要因として前年同期に計上しており、当中間連結会計期間にはその一過性要因がないことから、同事業のセグメント利益は前年同期を下回りました。しかしながら、同事業の団体信用生命保険及び個人保険ともに保有契約件数の堅調な増加により、一過性要因の影響を除く保険収支は前年同期に比べ607百万円増加しており、加えて運用収支が前年同期に比べ486百万円増加するなど、業容は着実に拡大しております。また、損害保険事業及び少額短期保険事業についても着実な業容拡大を続けています。

なお、参考情報として、生命保険事業における特別勘定（※）に係る収益を除いた経常収益について、下記に記載しております。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

<参考情報>

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	対前年同期 増減率 （%）
特別勘定に係る収益を除いた 経常収益	51,892	57,318	10.5

② セグメントごとの経営成績

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	経常収益			セグメント利益 （親会社株主に帰属する中間純利益）		
	中間連結会計期間		増減率 （%）	中間連結会計期間		増減率 （%）
	2024年3月期	2025年3月期		2024年3月期	2025年3月期	
損害保険事業	18,424	20,150	9.4	1,268	1,428	12.6
生命保険事業	18,403	20,776	12.9	604	343	△43.2
少額短期保険事業	15,782	16,540	4.8	92	172	87.6
報告セグメント計	52,610	57,467	9.2	1,964	1,944	△1.0
セグメント間消去又は調整	△103	△105	—	△297	△317	—
中間連結損益計算書 計上額	52,507	57,362	9.2	1,667	1,626	△2.5

（注）セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

中古車販売店「ガリバー」を運営する株式会社IDOMと連携し、事故により同社の修理工場へ入庫された自動車の修理内容や進捗状況をスマートフォン等で適時確認出来るシステムの導入に取り組み、自動車修理プロセスの透明性を確保する態勢構築に努めました。また、株式会社仙台銀行の預金口座保有のお客様を対象に、一般に比べ割安な保険料でご加入いただくことが可能となる団体保険「よりそう介護保険(正式名称:団体総合生活補償保険)」の募集を行い、パートナー企業とのアライアンスを通じた顧客基盤の拡大にも取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年9月末の保有契約件数(団体がん保険の被保険者数を含む)は1,304千件(前年度末比2.8%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比9.4%増加の20,150百万円となりました。セグメント利益は、雹(ひょう)災などにより自動車保険の保険金支払いが前年同期に比べ増加しましたが、増収効果などにより、前年同期比12.6%増加の1,428百万円となりました。

(生命保険事業)

住宅ローン専門金融機関のSBIアルヒ株式会社と生命保険募集代理店業務委託契約を締結し、同社の住宅ローンオンライン相談サービス「ビデオチャット相談」において、SBI生命保険株式会社の保険商品の販売が開始されるなど、グループシナジーを活用した販路の開拓を推進しました。また、昨年度よりコールセンターにおいて運用を開始している生成AI等のテクノロジーをバージョンアップすることにより、オペレーターの教育期間の短縮を図りつつ、これまで以上にお客様とのスムーズなやり取りを実現するなど、DX推進によるお客様の更なる利便性の向上と業務の効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年9月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は574千件(前年度末比9.4%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比12.9%増加の20,776百万円となりました。セグメント利益については、前述のとおり、前年同期に一過性の要因として計上した責任準備金戻入額の影響などにより、前年同期比43.2%減少の343百万円となりましたが、保有契約件数の堅調な増加により、一過性要因の影響を除く保険収支は前年同期に比べ607百万円増加しており、加えて運用収支が前年同期に比べ486百万円増加するなど、業容は着実に拡大しております。

(少額短期保険事業)

SBIいきいき少額短期保険株式会社は、ペット保険の保険金支払査定へのAIの導入により、保険金支払の自動査定を開始し、処理件数の増加や処理時間の大幅な削減を実現するなど、DXの推進による業務効率化に取り組みました。また、SBI日本少額短期保険株式会社は、保険契約管理システムと家賃債務保証サービスを提供する企業の保証管理システムとの連携先の拡大に努め、賃貸住宅に入居されるお客様の利便性向上と同社の代理店である不動産管理会社の業務効率化に取り組みました。こうした取り組みの結果、2024年9月末の保有契約件数は1,037千件(前年度末比1.1%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加などにより、前年同期比4.8%増加の16,540百万円となりました。セグメント利益は、この増収効果に加え、普通責任準備金(※)の積み立てが前年同期に比べ減少したことなどにより、前年同期比87.6%増加の172百万円となりました。

(※) 普通責任準備金は、決算日後の保険金等の支払義務を果たすために積み立てる責任準備金の一つであり、未経過保険料及び保険料積立金の合計額と初年度収支残を比較し、大きい方の金額を普通責任準備金として積み立てます。初年度収支残は、当期の収入保険料から、当該保険契約のために支出した保険金等及び当期の事業費を控除して算出されます。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、前年度末に比べ623百万円増加し、210,888百万円となりました。主な増減は、現金及び預貯金の減少4,080百万円、買入金銭債権の増加3,688百万円、有価証券の増加2,830百万円であります。

当中間連結会計期間末の負債は、前年度末に比べ963百万円減少し、169,306百万円となりました。主な増減は、責任準備金の増加857百万円、契約者配当準備金の減少782百万円、支払承諾の減少600百万円であります。

当中間連結会計期間末の純資産は、剰余金の配当により446百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する中間純利益1,626百万円の計上などにより、前年度末に比べ1,586百万円増加し、41,581百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ244百万円増加し、29,789百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に、保険金、年金、解約返戻金等の保険契約上の支払金や事業費等に係る支出を上回る保険料の収入により、4,685百万円の収入超過（前年同期は5,743百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に、有価証券の取得による支出が有価証券の売却・償還による収入を上回ったことにより、4,016百万円の支出超過（前年同期は9,876百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いにより446百万円の支出超過（前年同期は248百万円の支出超過）となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間の生命保険事業のセグメント利益は前年同期を下回りましたが、通期の同事業のセグメント利益は、足元の順調な業容拡大に加え、当年度末において保険業法施行規則第69条第5項の規定に基づき積み立てた責任準備金について、将来収支の改善が見込まれるため一部取り崩しを想定していることから、前年度と同水準以上での着地を見込んでおります。また、通期の連結業績予想については、前述の責任準備金の取り崩しを含めて策定していることや、当中間連結会計期間の連結業績が概ね当初予定どおりに推移していることから、2024年5月9日公表の「2024年3月期決算短信」に記載いたしました2025年3月期の連結業績予想値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	33,542	29,461
買入金銭債権	717	4,405
金銭の信託	186	688
有価証券	143,649	146,480
貸付金	129	156
有形固定資産	794	779
建物	446	449
リース資産	1	0
その他の有形固定資産	347	329
無形固定資産	7,534	7,485
ソフトウェア	4,000	4,089
のれん	2,928	2,827
その他の無形固定資産	604	568
代理店貸	164	71
再保険貸	8,541	8,117
その他資産	13,909	12,475
繰延税金資産	396	666
支払承諾見返	700	100
貸倒引当金	△0	△0
資産の部合計	210,265	210,888
負債の部		
保険契約準備金	143,533	144,313
支払備金	23,113	23,817
責任準備金	114,332	115,190
契約者配当準備金	6,087	5,305
代理店借	447	319
再保険借	7,284	7,164
その他負債	16,990	16,060
退職給付に係る負債	17	17
価格変動準備金	1,097	1,161
繰延税金負債	198	169
支払承諾	700	100
負債の部合計	170,270	169,306
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	6,000	7,180
自己株式	△0	△0
株主資本合計	46,436	47,616
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,552	△6,158
その他の包括利益累計額合計	△6,552	△6,158
非支配株主持分	110	123
純資産の部合計	39,995	41,581
負債及び純資産の部合計	210,265	210,888

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
経常収益	52,507	57,362
損害保険事業	18,357	20,083
保険引受収益	17,657	19,597
正味収入保険料	17,645	19,584
積立保険料等運用益	11	12
資産運用収益	695	479
利息及び配当金収入	204	233
金銭の信託運用益	—	102
有価証券売却益	0	—
その他運用収益	502	156
積立保険料等運用益振替	△11	△12
その他経常収益	4	6
生命保険事業	18,395	20,769
保険料等収入	15,205	19,408
保険料	11,063	13,579
再保険収入	4,142	5,828
資産運用収益	2,892	1,342
利息及び配当金等収入	784	1,242
有価証券売却益	60	54
為替差益	9	—
貸倒引当金戻入額	—	0
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	2,037	43
その他経常収益	297	18
少額短期保険事業	15,754	16,509
保険料等収入	15,601	16,237
資産運用収益	0	0
その他経常収益	153	271
経常費用	47,655	52,494
損害保険事業	16,944	18,823
保険引受費用	11,395	13,347
正味支払保険金	10,812	11,892
損害調査費	2,056	2,149
諸手数料及び集金費	△1,983	△2,088
支払備金繰入額	473	719
責任準備金繰入額	35	674
その他保険引受費用	0	0
資産運用費用	590	235
金銭の信託運用損	563	—
その他運用費用	27	235
営業費及び一般管理費	4,955	5,239
その他経常費用	2	1

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
生命保険事業	14,787	17,182
保険金等支払金	11,151	13,474
保険金	3,017	4,112
年金	446	313
給付金	586	746
解約返戻金	1,497	1,330
その他返戻金	657	701
再保険料	4,945	6,270
責任準備金等繰入額	32	83
支払備金繰入額	32	9
責任準備金繰入額	—	74
資産運用費用	578	535
支払利息	1	5
有価証券売却損	0	0
金融派生商品費用	437	331
為替差損	—	68
貸倒引当金繰入額	0	—
その他運用費用	139	129
事業費	2,644	2,712
その他経常費用	381	376
少額短期保険事業	15,614	16,173
保険金等支払金	9,772	10,542
責任準備金等繰入額	617	196
事業費	5,205	5,414
その他経常費用	18	19
その他	309	315
経常利益	4,851	4,867
特別利益	40	—
負ののれん発生益	18	—
新株予約権戻入益	21	—
特別損失	63	68
固定資産等処分損	0	4
価格変動準備金繰入額	63	64
契約者配当準備金繰入額	2,662	3,107
税金等調整前中間純利益	2,166	1,691
法人税及び住民税等	295	379
法人税等調整額	193	△324
法人税等合計	489	54
中間純利益	1,676	1,637
非支配株主に帰属する中間純利益	9	10
親会社株主に帰属する中間純利益	1,667	1,626

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,676	1,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△476	395
その他の包括利益合計	△476	395
中間包括利益	1,199	2,033
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,193	2,019
非支配株主に係る中間包括利益	6	13

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	4,798	△0	45,234
当中間期変動額					
剰余金の配当			△248		△248
親会社株主に帰属する中間純利益			1,667		1,667
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	1,419	—	1,419
当中間期末残高	8,375	32,061	6,217	△0	46,653

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△6,495	△6,495	21	103	38,864
当中間期変動額					
剰余金の配当					△248
親会社株主に帰属する中間純利益					1,667
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△474	△474	△21	6	△489
当中間期変動額合計	△474	△474	△21	6	929
当中間期末残高	△6,969	△6,969	—	110	39,793

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	8,375	32,061	6,000	△0	46,436
当中間期変動額					
剰余金の配当			△446		△446
親会社株主に帰属する中間純利益			1,626		1,626
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	1,179	—	1,179
当中間期末残高	8,375	32,061	7,180	△0	47,616

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△6,552	△6,552	110	39,995
当中間期変動額				
剰余金の配当				△446
親会社株主に帰属する中間純利益				1,626
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	393	393	13	406
当中間期変動額合計	393	393	13	1,586
当中間期末残高	△6,158	△6,158	123	41,581

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,166	1,691
減価償却費	938	897
のれん償却額	101	101
支払備金の増減額(△は減少)	582	704
責任準備金の増減額(△は減少)	285	857
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	2,662	3,107
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	—
価格変動準備金の増減額(△は減少)	63	64
利息及び配当金等収入	△989	△1,476
金銭の信託関係損益(△は益)	563	△102
有価証券関係損益(△は益)	△60	△54
金融派生商品損益(△は益)	437	331
支払利息	1	5
為替差損益(△は益)	△467	276
固定資産処分損益(△は益)	0	4
特別勘定資産運用損益(△は益)	△2,037	△43
代理店貸の増減額(△は増加)	19	93
再保険貸の増減額(△は増加)	566	423
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	1,886	1,572
代理店借の増減額(△は減少)	△170	△128
再保険借の増減額(△は減少)	887	△120
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△997	△1,255
その他	39	△18
小計	6,475	6,931
利息及び配当金の受取額	1,793	1,803
利息の支払額	△1	△4
契約者配当金の支払額	△2,626	△3,889
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	102	△154
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,743	4,685

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	73	△0
買入金銭債権の売却・償還による収入	102	312
金銭の信託の増加による支出	△150	△400
有価証券の取得による支出	△24,981	△6,956
有価証券の売却・償還による収入	9,669	3,789
貸付けによる支出	△7	△53
貸付金の回収による収入	29	28
債券貸借取引受入担保金の純増減額(△は減少)	6,210	106
資産運用活動計	△9,054	△3,172
営業活動及び資産運用活動計	△3,310	1,513
有形固定資産の取得による支出	△197	△73
無形固定資産の取得による支出	△638	△770
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	12	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,876	△4,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△248	△446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△248	△446
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,404	244
現金及び現金同等物の期首残高	31,945	29,545
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,540	29,789

（5）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

生命保険事業のその他経常収益の内訳は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
責任準備金戻入額	290百万円	－百万円
その他の経常収益	7	18
計	297	18

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、SBI損害保険株式会社、SBI生命保険株式会社、及び少額短期保険業者6社の持株会社であるSBI少短保険ホールディングス株式会社を直接の子会社とする保険持株会社であり、これらの会社の経営管理等を行っております。傘下の子会社は、保険業法等の業種特有の規制環境の下にあり、各子会社においてそれぞれの経営戦略等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は傘下の子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「損害保険事業」、「生命保険事業」、及び「少額短期保険事業」の3つを報告セグメントとしております。

- （1）「損害保険事業」は損害保険業を行っており、SBI損害保険株式会社1社で構成されております。
- （2）「生命保険事業」は生命保険業を行っており、SBI生命保険株式会社1社で構成されております。
- （3）「少額短期保険事業」は少額短期保険業を行っており、SBI少短保険ホールディングス株式会社、SBIいきいき少額短期保険株式会社、SBI日本少額短期保険株式会社、SBIリスタ少額短期保険株式会社、SBIプリズム少額短期保険株式会社、SBI常口セーフティ少額短期保険株式会社及びSBIペット少額短期保険株式会社（旧商号：住生活少額短期保険株式会社）の7社で構成されております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、中間連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部経常収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益（注） 1						
外部顧客への経常収益	18,357	18,395	15,754	52,507	—	52,507
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	67	7	27	103	△103	—
計	18,424	18,403	15,782	52,610	△103	52,507
セグメント利益（注） 3	1,268	604	92	1,964	△297	1,667
セグメント資産	59,484	126,521	14,650	200,656	△2,029	198,627
その他の項目						
減価償却費	546	322	63	932	5	938
のれんの償却額	—	—	101	101	—	101
利息及び配当金等収入	238	787	0	1,026	△37	989
支払利息	—	1	37	38	△37	1
特別利益	—	—	18	18	21	40
（負ののれん発生益）	(—)	(—)	(18)	(18)	(—)	(18)
特別損失	17	46	0	63	—	63
（価格変動準備金繰入 額）	(17)	(46)	(—)	(63)	(—)	(63)
契約者配当準備金繰入 額	—	2,662	—	2,662	—	2,662
税金費用	155	288	36	480	8	489
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	226	239	63	528	12	541

（注） 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△297百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,029百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,237百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産2,208百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「利息及び配当金等収入」及び「支払利息」はセグメント間取引の消去額であり、その他は当社で計上したものであります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	中間連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	20,083	20,769	16,509	57,362	—	57,362
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	66	7	30	105	△105	—
計	20,150	20,776	16,540	57,467	△105	57,362
セグメント利益(注) 3	1,428	343	172	1,944	△317	1,626
セグメント資産	64,268	133,210	15,932	213,410	△2,522	210,888
その他の項目						
減価償却費	504	314	68	887	9	897
のれんの償却額	—	—	101	101	—	101
利息及び配当金等収入	274	1,245	0	1,519	△43	1,476
支払利息	—	5	43	48	△43	5
特別損失	20	47	—	67	0	68
(価格変動準備金繰入 額)	(17)	(47)	(—)	(64)	(—)	(64)
契約者配当準備金繰入 額	—	3,107	—	3,107	—	3,107
税金費用	△164	83	133	52	1	54
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	635	275	24	935	3	939

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△317百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

(2) セグメント資産の調整額△2,522百万円は、セグメント間の債権債務等の消去額△4,297百万円及び当社の現金及び預貯金等の資産1,775百万円であります。

(3) その他の項目のうち、「利息及び配当金等収入」及び「支払利息」はセグメント間取引の消去額であり、その他は当社で計上したものであります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の親会社株主に帰属する中間純利益と調整を行っております。